

交流ニュース
第73号
2011年1月



学園&地域交流ネットワーク
八幡西区折尾 4-10-1
<http://friestar.com>
info@friestar.com



= 明けまして おめでとうございます =

今年のお正月は大変寒い日々が続きましたが、
皆様方におかれましては如何お過ごしでしょうか。



さて、私たち「学園&地域交流ネットワーク」は、北九州市の助成を受けて、今年度の事業として「障害者施設と地域を結ぶ架け橋交流事業」を実施しているところです。

この事業の主な内容の一つは、障害者・児を対象にボランティア活動をしている団体に対するアンケート調査を実施し、この結果をまとめて、さらに専門家のアドバイスも取り入れたガイドブックをこの3月までに作成し、障害者施設や特別支援学校、障害者支援組織、市民センターなどに無料で配布して活用してもらうことです。

二つ目の内容は、昨年度から続けている「授産品バザー」をこの3月まで開催することです。

この1月15日（第3土曜日）と3月19日（同左）に旧「ゆめ広場」で開催しますので、是非多くの方々にご来場いただき授産品の素晴らしさを知ってもらいたいと思っています。

そして三つ目の内容として、各地の障害者施設で働いておられるスタッフや、高齢者介護の事業にとりくんでおられる方々との交流会を実施しています。この交流会を通して私たちは多くのことを学ぶことが出来ましたので、これからの活動に活かしていきたいと思えます。

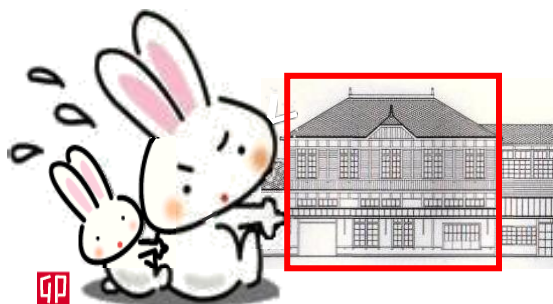
今年度の私たちの活動のもう一つの大きな柱は「折尾駅舎」や「赤レンガ高架橋」を始めとした折尾における歴史遺産の保存と活用を訴える活動です。

この活動に多くの方々の参加を呼び掛け、より広く門司や若松など北九州市域における歴史遺産のネットワークを構築するために、「歴史遺産『北九州市レトロ』を創る会」を結成しました。

この「創る会」では、現在、北九州市やJR九州本社に「折尾駅舎」と「赤レンガ高架橋」の保存活用について申し入れを行っているところです。（詳細は3頁目を参照）

この春にも解体されるかもしれない折尾駅舎を保存活用するための活動に、皆様方のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご健康と、この1年のご多幸を祈念して、新年のあいさつとさせていただきます。
(2011年1月 学園&地域交流ネットワーク 代表 竹下秀俊)



**「折尾駅舎」を「曳き家で移動」して、
「仮改札口」として活用」しよう!!**